

前回（第2回審議会）の質疑・意見に対する回答について

	各委員からの質疑・意見	回答
①	バイオマス施設の減価償却の説明をしてください。	次回、説明させていただく。
②	水道料金（給水収益）は平成30年度から令和元年度になって減少しているが、下水道使用料は増加していくのはなぜか。	人口が減ってくるので給水収益は減るが、下水道使用料は下水道の接続が100%ではなく、毎年1%ずつ増加しているため微増する状況である。
③	接続率はまだ上がるのか。 令和元年度は何件ぐらいつながったのか。	現在の接続率は86%で、まだ14%の方が未接続である。 令和元年度は100件には満たないが、70～80件程度だったと思う。
④	水道の企業債は、決算書に借入先が何件か記載されているが、どういったところか。 民間ではないのか。	国の機関である。
⑤	以前に借りたものは金利が2%程度であるが、最近のものは0.5%となっている。 1億借りて1%違えば100万円違うので借り換えできないのか。	高利率で5%以上のものは繰り上げ償還で整理しているが、借りたときの条件もあり、繰り上げ償還で返す額が数十億と大きくなるので難しい。
⑥	よくゴミ収集車が通るが、生ゴミはどの程度収集しているのか。	中学校（給食センター）や保育園、鹿寿苑などの施設からで、サニーフーズなどの企業からも受け入れている。一般家庭や事業系のゴミはほとんど入っていない。
⑦	処理費用はいくらか。	1kg当たり20円で請け負っている。
⑧	下水道は最初に借入をして工事をし、借入金の返済を一般会計から繰り入れているのか。事業債を毎年10億円（一般会計繰入金）返済しているということは、税金で返済していることになるが、当初から税金で負担するべきものではないか。	下水道の場合、1億円の管路工事をするとすれば、その年度に1億円の予算を立て、その半分は国から補助金としてもらい、残りの半分は企業債という借金をする。
⑨	最初から税金で払えば企業債を発行する必要がないのでは。	町としては、財政的に事業費に税金を充てることは難しい。国から借りた企業債は交付税の算入率に応じた財政支援を受けることができ、減価償却に合わせ25年、30年で返済することができる。
⑩	国からもらう補助金や交付金は相当あるのか。	資料P31の支出のうち公費負担費が企業債の交付税で支援を受けている部分で、一般会計から下水道会計に入ってくる仕組みとなっている。

⑪	企業会計になったらどうなるのか。	企業会計になっても下水道の企業債は今まで通り国の支援がある。
⑫	バイオマス施設も国の支援があるのか。令和2年に事業を行う場合も同じか。	国の交付税参入の支援がある。
⑬	下水道会計から見ると使用料140円が240円になれば一番いいということか。	下水道会計で見るとそうだが、年度によって異なる。
⑭	市町によって基本料金が異なるのはなぜか。	それぞれの会計事情により異なるもので、基本料金がなく定額の市町もあり、超過料金も一律もあれば使えば使うほど高くなっていくものもある。
⑮	一般家庭の使用水量は平均何m ³ か。	20～30 m ³ 。
⑯	電気料金は夏場と冬場で価格が異なるが、水道料金も同様なことはできないか。	季節ごとの料金設定は難しいが、審議の中で検討していきたい。
⑰	下水は汚水処理原価が244円に対し、使用料単価が140円と全然足りてない状況だが、町の補助で料金を安くするようにしてもらいたい。	
⑱	中能登町は口径によって使用料がφ13mmもφ20mmも同じだが、他市町では口径によって違うところもあるので、変えるのも1つの方法であると思うが。	検討材料の1つとさせていただく。
⑲	企業債の借り換えについて、住宅ローンでは繰り上げ償還する場合に補償金（本来得ることのできる利息）が必要となることもあるが、下水道事業も繰り上げ償還する際に補償金が発生するのか。	補償金は発生すると思う。以前に1度だけ、国の施策で高利率分を補償金免除で繰り上げ償還したことはあるがそれ以降はない。
⑳	汚水処理原価（244円）と使用料単価（140円）は100円の差があり、上げなければならぬのは分かるが、一般家庭においては負担が増えるため、町民が納得のいく少しでも安い価格にできるようにしたい。	
㉑	企業債の金利はどのくらいか。	0.6%。
㉒	水道は今出ている想定だけで年間3,000万円の赤字があり、10年間で3億円となる。これを10年後にトントンにもっていくのか。	年度ベースでゼロを目標に料金設定していきたい。
㉓	平成30年度時点で繰越欠損金はないのか。	平成30年度までは繰越欠損金はない。
㉔	表中の維持管理費や建設改良費に何%か数字を入れてほしい。	数字を表示する。